

横山蔵人監督 退任のお知らせ

この度、横山蔵人監督が、定年を迎え退任することとなりました。

横山監督は、1996年に本校野球部初代監督として就任し、2009年春季北海道大会では、チームを初の全道大会優勝に導きました。就任当初は、部員数も少なく公式戦での勝利が遠い時期もありましたが、1999年春季全道大会初出場を果たしてからは、北海道で常に上位を狙えるチームを創り上げてきました。25年間の監督生活の中で指導してきた選手は約500名となり、どの卒部生も横山監督が創部当初から掲げている「粘り強さは気迫から」の言葉を胸に、多方面で活躍を見せています。

3月30日には、校長室にて学校執行部全員が見守る中、江川校長より「25年間、本当にお疲れ様でした」という言葉とともに花束が贈呈されました。

3月31日の練習では、監督として最後のノックが行われました。25年の時間を過ごしたグラウンドで、選手たちの大きな声が響き渡る熱いノックとなりました。ノック後のミーティングでは、「目標の甲子園出場は果たせなかったが、高校野球の楽しさ、苦しさ、素晴らしさを存分に味わうことができました。これからの慶祥野球部は君たちに任せた!ぜひ、甲子園出場を果たすことを楽しみにしています」と選手たちにメッセージが送られました。島山主将からは「監督さんから教わったことを大切にして、必ず甲子園出場を果たします」と力強い言葉がありました。

練習後には、野球部 OB 会副会長の石川拓道さんが訪れ、横山監督に花束が贈呈されました。

横山監督は、4月からアドバイザーとして指導に携わっていきます。後任には、本校2期生の滝本圭史部長が就任します。これからも、高校野球部への温かいご声援をよろしくお願い致します。



2021/03/31